

国語シリーズ 9

文部省編

入門期における

ローマ字文の学習指導

統計出版

刊行の趣旨

国語シリーズは、国語の改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものであります。

このシリーズは、国語問題編、国語教育編、国語生活編および国語教養編として、それぞれ逐次刊行する予定であります。

問題編は、主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は、一般の国語教養を高めることを目的とするものであります。

この本は国語教育編の1巻として、文部省ローマ字教育実験調査研究会で作成した昭和26年度ローマ字教育実験学級指導試案を改訂修補したものであります。

この試案は、小学校第3学年を対象として書かれたものであります。が、教材の程度・時間数などを加減することによって、第4学年に対しても、じゅうぶんに利用できるものであります。すなわち、入門学年におけるローマ字学習の指導法と考えていただければよいのであります。

なお、上記試案の執筆・改訂修補については、付録に掲げたローマ字教育実験調査研究会、ローマ字教育実験学級関係のかたがたの御尽力を得たものであります。ここに付記して厚くお礼申し上げます。

昭和27年3月

文部省調査普及局国語課長 原 敏 夫

目 次

§ 1 緒 論	1
〔Ⅰ〕 教師の慣れ	1
〔Ⅱ〕 能力別指導	1
〔Ⅲ〕 興味について	3
§ 2 読むことの指導方針	3
〔Ⅰ〕 「知るために読む」指導法	3
〔Ⅱ〕 学び手自身による読み	4
〔Ⅲ〕 指導の組立	4
〔Ⅳ〕 教師の指導すべき言語能力	4
〔Ⅴ〕 読む力を進歩させるために忘れてはならない点	5
〔Ⅵ〕 読む速さを増す方法	6
§ 3 書くことの指導方針	6
〔Ⅰ〕 目的をもった書くことの指導と機械的練習	6
〔Ⅱ〕 書く能力	6
〔Ⅲ〕 書く力を進歩させるかぎ	7
〔Ⅳ〕 文字を書く力の標準	7
§ 4 教科書にはいない前の読むことの指導	7
〔Ⅰ〕 目 的	7
〔Ⅱ〕 時 間	8
〔Ⅲ〕 ことばの選び方	8
〔Ⅳ〕 取 扱	8

目 次

§ 5 教科書にはいつてからの読むことの指導	8
〔Ⅰ〕 新しいことばの提出	8
〔Ⅱ〕 第1回の読み	10
〔Ⅲ〕 教師の指導のもとに行う読み (導かれた読み)	10
〔Ⅳ〕 言語能力と言語技術の指導	11
〔Ⅴ〕 理解しているかどうかをためし、かつ深めるための手続 と読み返し	11
〔Ⅵ〕 指導の段階と方法	12
1 第1期の指導 (たとえば、第1時間から第17時間まで)	12
2 第2期の指導 (たとえば、第18時間から第26時間まで)	13
3 第3期の指導 (たとえば、第27時間から第40時間まで)	16
§ 6 書くことの指導	18
〔Ⅰ〕 姿勢と鉛筆	18
〔Ⅱ〕 見ながら書く	19
〔Ⅲ〕 覚えたことばを書く	21
〔Ⅳ〕 自由に書く	21
〔Ⅴ〕 書くことの指導は文で行う	22
〔Ⅵ〕 よく書き慣れた文	22
〔Ⅶ〕 分ち書きの指導	22
〔Ⅷ〕 正しく書けるようにすべき変化形	23
〔Ⅷ〕 よくまちがいの起る分ち書き	24
〔Ⅸ〕 符号の使い方	24
参考 1 学習指導上の一般的注意事項	26
2 言語能力の向上を妨げる条件	27
3 経験記録法を加味した指導例	28
4 カード遊びの指導例	30

目 次

5	教科書にはいつてからの指導例	33
	(1) 笑い話	33
	(2) たいせつなお話	37
	(3) コロンブスの卵	41
6	学級別学習指導観察記録簿	46
7	個人別学習指導観察記録簿	55
8	テストの方法	60
	(1) 17 時間指導後のローマ字文学力 の中間テスト問題作成要領	60
	(2) 30 時間指導後のローマ字文学力 の中間テスト問題作成要領	62
付録	文部省における昭和 26 年度ロー字教育実験調査 実施要項	65
別表	(はさみこみ)	